

春日部市商工振興センター 跡地利用の進捗について



海老原光男
議員

平成29年3月末日をもって閉館となりましたが、その跡地利用については、今年8月3日に地元の見解を聞くために自治会、商店会、商工会議所の代表の方に出席いただき、「旧春日部市商工振興センター跡地活用懇談会」が開催されました。

懇談会の中で、市より、平成28年6月に国から商工振興センター跡地を売る意思があるという書面が欲しいという要望に応じて、国に商工振興センター跡地を買って欲しいという要望書を提出したとの経緯の説明があったと聞いていますが、その要望書の内容について伺います。

○環境経済部長

初めに国のほうから、ハローワーク春日部と春日部労働基準監督署が老朽化しているため、利用者にとって利便性のよい市の中心部に移転、建て替えをしたいという相談が

ありました。

その後、耐震性の問題から解体が決まった旧商工振興センターの跡地を移転候補地の一つとして協議が始まりました。その協議の中で国から、市として何らかの意思表示をしていたいただきたいとの申し入れがあり、跡地の活用について要望書という形で提出をしたものです。

要望書につきましては、活用をお願いするものであり、売却を前提とする内容ではありません。

このほか

○国民保護法について

認知症高齢者の 見守りについて



中川 朗
議員

高齢化の著しい進展に伴い、認知症高齢者への対応は重要な課題です。記憶障害や理解

徘徊、妄想、抑うつ等の認知症の行動心理症状の中でも、特に徘徊は外出しても目的地にたどり着けない、自宅に戻れない等の理由から、事故や

事件に巻き込まれる危険性や、行方不明の増加などの社会問題となっております。

高齢になっても住み慣れた地域で本人、そして家族も安心して生活できるように高齢者の見守り体制を整えていただきたいと思いますが、本市における認知症高齢者の見守りの現状について伺います。

○福祉部長

市では、民生委員の協力のもと、毎年一人暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯を直接訪問し、世帯の状況や緊急時の連絡先などを確認しています。この調査により地域の実情等を把握し、緊急時の対応に備えることができます。

また、見守り体制として埼玉県徘徊高齢者等SOSネットワークが平成26年3月より始まっていますので、県内だけでなく県外へも協力を広げ、広域的な対応が可能となっております。

このほか

○シティセールス戦略プランについて

○小中学校の吹奏楽活動について

○消防・救急・救助体制の強化について

手話言語条例の制定で 手話で交流ができる春日部に



大野とし子
議員

2011年、障害者基本法で「手話は言語である」と明記し、2013年、鳥取県で全国初の手話言語条例が制定され、現在101自治体が制定しています。埼玉県では、朝霞市に続いて2016年に県が制定し、現在9市町が制定、11市町が検討準備をしています。

春日部市においても、市民が手話でコミュニケーションが図れるように手話言語条例を制定していくべきと考えますが、市の考えを伺います。

また、聴力障害者が安心して生活できるように、市役所への手話通訳者の配置、手話通訳者派遣事業における選任通訳者の募集年齢の引き上げで正規職員の配置、避難所等で聴力に障害がある方が認識してもらえように希望者にビブスの配布をと考えますが、市の考えを伺います。

○福祉部長

今後も手話言語法制定の動向を注視するとともに、県等と連携し、多くの市民の皆さんに手話をわかっていただけるような事業を普及していきます。市役所への通訳者の配置は職員一人一人の配慮や派遣事業で対応することができていると考えています。人材の確保は、社会福祉協議会に要望していきます。ビブスの配布については、関係団体のご意見を伺っていきます。

このほか

○豊かな食育で子どもたちの成長を保障するために、庄和地域も自校給食に



手話「ありがとう」

東口活性化のため、市の責任で商工振興センター跡地活用を



卯月 武彦 議員

商工振興センター跡地に、ハローワークと労働基準監督署を誘致する方向で検討しているという聞いています。国との交渉内容や、国への要望書の内容についてお示しく下さい。また、要望書の写しを議会に提出することを要望します。

ハローワークと労基署の誘致は白紙に戻し、市民、関係団体の意見を十分に反映した施設を造るべきです。また、例えば商工振興センター跡地に中央図書館を移転・充実し、現図書館を美術館にするなど、周辺の公共施設を含めて総合的に検討すべきだと思いますが、市の考えをお聞きします。

○環境経済部長
国からハローワークおよび労働基準監督署が老朽化しているため、利便性のよい市の中心部に移転建て替えたいという相談があり、協議の中で、国から文書という形で跡地活用に応じる意思表示を市

大落古利根川の活用について



山崎 進 議員

からしていただきたいという申し入れがあり、要望書という形で提出したもので、内容は活用をお願いするものです。

○総合政策部長
春日部市公共施設マネジメント基本計画では施設再編を進める上で、①まちづくりの視点を重視する②供給量の適正化を図る③既存施設を有効活用する、の3つの視点を掲げています。これらを踏まえ、効果的な跡地活用の検討を進めていきたいと考えています。

このほか
○生活保護申請期間中の生活の保障を



中央図書館

大落古利根川は、春日部市の数少ない自然の財産です。近年は遊歩道が整備され、多くの人が健康づくりの散歩や散策などで大落古利根川の自然を満喫しています。特に、春は桜の花が約2キロメートル続き、見事な景観がつかられ、多くの人でにぎわいますが、現在、大落古利根川を活用した事業や行事が行われているのか、また、アヤマやホテイアオイなどの水生植物の植栽、あるいは水上バスや屋形船などを浮かべて、年間を通して観光資源として活用できないか伺います。

○建設部長
大落古利根川の活用については、商店街の模擬店が並び、地元の商店が提供する料理を味わいながら夕涼みを楽しむ「古利根川ゆかたでナイト」や川からの眺めを楽しむボートやカヤック体験のほか、夕暮れどきの素敵な音楽、灯籠

流しなど、趣向を凝らしたメニューが盛りだくさんの夕涼みフェスタが行われており、今年も約2千人が来場し、大いに盛り上がりました。

植栽については、大雨の際にも河川の流れに支障が無く、安全な状態を確保するために適正な維持管理が必要となりますので、希望団体等がある場合は協議したいと考えています。

船の利用については、夕涼みフェスタのような期間限定イベントや観光船を希望する団体があれば実現に向けて協議したいと考えています。

第2次春日部市総合振興計画の策定は、「子育ても老後も安心の市政実現」を基本に



松本 浩一 議員

平成30年度から39年度までの10年間にわたる「総合的かつ計画的なまちづくりの指針」となる第2次春日部市総合振興計画の策定にむけた準備が進められています。

第1次春日部市総合振興計画では、将来像を「人・自然・産業が調和した快適創造都市

市・春日部」とし、目標人口を25・5万人に設定しました。しかし、平成15年に24万4483人であった人口は、28年には23万6487人と、約8千人も減少。目標の25・5万人どころか、近年では、県内で最も人口が減少している自治体となってしまいました。

第2次春日部市総合振興計画の策定に当たっては、これまでの10年間の市政運営をきちんと総括することが必要であり、その上に立って今後10年間の計画を練り上げ、人口減少に歯止めをかけ、「子育ても老後も安心の市政実現」を基本に、市民の願いに応える施策を実行していくことが重要と思いますが、市長の考えを伺います。

○市長
本市のこれからの将来をしっかりと見据え、現在策定中の第2次総合振興計画に位置付けられている各施策や重点プロジェクトにしっかりと取り組み、誰からも選ばれるまちを目指して取り組んでいきます。

このほか
○20万都市にふさわしい陸上競技場や市民プールなどの体育施設の整備を

藤の牛島駅周辺の整備等に関して



古沢 耕作
議員

来年度からの実施に向け、3園程度の募集を行い、選定作業を進めています。

○都市整備部長

②藤の牛島駅周辺については、既存の都市基盤を有効に活用する方針で、魅力的な商店街の形成を図るといふ施策を示すとともに、立地適正化計画では居住誘導区域に設定をするところです。

また、駅へのアクセス道路が狭く、安全性・利便性に課題が残っているため、安心して買い物などができる歩行空間の確保などの整備を行っていきます。

市内の無電柱化について



木村 圭一
議員

無電柱化は、良好な都市景観の創出、安全な歩行空間の確保、道路における防災・災害時の強化として有効です。本市もこうした状況を踏まえて、無電柱化に対する取り組みを行うことは必要なことであると考えます。

そこで、緊急時に人命救助

いじめ対策における教育長への手紙 現代版目安箱について



矢島 章好
議員

山口県山口市では、教育長が直接、中学生からの手紙を受け付ける仕組みを設け、一定の効果を上げています。

一人でも多くの子どもたちの声をくむことができるよう、直接、教育長に届く手紙です。いじめ対策としての有用性を認識し、昨年の平成28年9月に市内中学校の全生徒を対象に専用の手紙を配布し、制度の運用を開始しています。

誰にも打ち明けることができず、誰に相談すればよいか分からず、悩みを抱えたままにいる児童・生徒を一人でもなくしていくため、この教育長への手紙、現代版目安箱といったところへの本市の考えを伺います。

○学務指導担当部長

市内小中学校では、全ての教職員が子どもたちのサインや小さな変化も見逃さないよう教育活動を行い、子どもからのどんな小さな訴えにも即座に

対応し、いじめの早期発見、早期対応に取り組んでいます。また、教育相談センターでは、受付時間の拡充を図るなど、相談体制の充実に努めています。

教育長への手紙については大変貴重な提言と受け止め、今後においても、これまでの取り組みが目安箱の機能を果たせるよう、それぞれの充実を図っていきます。

このほか

○小・中学校における非正規雇用教員について

○埼玉掃除に学ぶ会の活動について



○子育て支援担当部長

①保育所の「待機児童ゼロ」を達成するため、私はこれまで小規模保育所を認可して利用することを主張してきましたが、現状がどうなっているか伺います。

②計画には市内8つの駅を中心としたコンパクトシティの形成を図るとありますが、私の地元である藤の牛島駅周辺の具体的な整備計画が見えてきませんか。どのように考えているか伺います。

○小規模保育事業については、

高齢者ドライバーの
交通事故防止対策について



石川 友和
議員

高齢者ドライバーのブレーキとアクセルの踏み間違い事故が社会問題になりつつあります。児童の登下校の列に自動車が出っ込む痛ましい事故が現実に行き来している時代であります。しかし、現代の社会は事前に防げる時代になってきました。自動ブレーキや、ペダルを踏み間違えても飛び出ない車が販売されています。そこで、自動ブレーキなどの機能を装備した車を高齢者が購入しやすくするために市の方で助成をして、一人でも多くの高齢者に乗ってもらいように推進することはできないか、市の考えを伺います。

○市民生活部長

自動ブレーキ等は、さまざまな車種に標準装備、またはオプションによる取り付けで販売されるようになってきています。国では経済産業省や国土交通省および自動車関係団体が一体となり、自動ブレ

ーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置などを装備した車の普及に取り組み始めました。

経済産業省の安全運転サポート車の普及啓発に関する中間取りまとめによると、自動車購入の際、自動ブレーキ装着車には任意自動車保険料を割引する等の検討がなされており、今後官民を挙げての普及啓発や先進技術の向上と搭載拡大についての検討が行われると聞いていますので、助成については国の動向を注視したいと考えています。

○公民館について

このほか



春日部市発展プロジェクト、
観光政策について



水沼日出夫
議員

春日部駅付近連続立体交差事業や、その周辺のさまざまな再開発事業に代表される春日部中心市街地大改造計画を観光分野のインバウンド政策上の貴重な観光資源と捉え、官民一体で新たな経済効果を生み出し、着実に地域経済の活性化につなげていく中長期的な観光政策上の検討が極めて重要と考えます。また、これらの大事業に先行して、誰がいかにか仕切り、つなげていくのかといった専門セクションも必要となります。

そこで、第2次総合振興計画の策定を目前にした本市の観光経済発展プロジェクトへの考え方や、取り組みの方針について伺います。

○総合政策部長

プロジェクトチームの必要性につきましては、今後において大規模かつ多種多様な事業が予定され、市街地の魅力とにぎわいを創出するという

考え方において、これを強力に推進していく体制整備が求められていることは十分理解しています。

現在市では、行政組織機構の見直しの検討を進めていますが、この中で新たな観光資源の創出や活用を図り、また中心市街地の活性化や企業誘致への取り組みを一体的に進めることができるようなセクションの設置を検討しています。

このほか

○線状降水帯がもたらす大雨に備える浸水被害軽減対策について

高齢者対策について



義則 斉藤
議員

わが国のように高齢化が進んだ社会では、単なる長生きよりも人生をいかに充実したものにするかといった生活の質に重点が置かれるようになってきました。そこで市が行っている生涯学習において、高齢者はどのくらい参加しているか、また、高齢者を対象

とした健康でアクティブ（活動的）に生活することを指すための、目標志向型の講座はあるのかどうか伺います。

○社会教育部長

平成28年度に取りまとめた生涯学習の事業数は全庁内で474事業、実施回数は2146回でした。全体的に高齢者の方の割合が高く、本年度実施した5つのパソコンセミナーでは約80パーセントの参加者が60歳以上でした。公民館で行われた事業でも、やはり全体的に高齢者の方の参加割合が多くなっています。

また、高齢者の方を対象とした健康等の目標志向型の講座は、平成28年度に公民館において7事業、合計48回、1295人の参加がありました。事業実施に際し、公民館では高齢者が事業に参加するだけでなく、企画運営への参加や自身が舞台に立つこと、知識や経験を生かし、指導者になるなど主体的に取り組んでいきます。また、春日部市出前講座の行政編メニューには健康医療、福祉に関するものや体力測定等があり、健康でアクティブな生活を目指すための目標志向型の講座と位置付けできると考えています。

傍聴して一言

太陽光発電については、さらなる促進を。

男性・83歳

スムーズに議案が進められ良かったと思う。分かりやすい内容表現でした。

男性・66歳

春日部は全国的にも知名度が高いです。

どこに旅行しても春日部から来たと言うとみんな知っています。

そんな意味でも本当に自慢できるような市になるとよいと思います。

女性・72歳

「傍聴にあたってのご注意」はお願いの表記がよいのでは。議会傍聴者に冷水機等あるとよいのでは。

議会だよりへは、市民参加と協働の理念を啓発するイラスト、文言、議会へ関心を高める表紙を期待します。

男性・67歳

※割愛させていただいた部分もあります。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
8/21	2	上程・説明
24	1	質 疑
25	1	質 疑
28	1	質 疑
29	0	質 疑
31	2	委員会
9/1	9	委員会
5	24	一般質問
6	14	一般質問
8	59	一般質問
12	38	一般質問
13	22	一般質問
15	1	討論・採決
合計	174	

政務活動費 収支報告一覧の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。この、政務活動費の収支報告一覧については、市議会ホームページで公開しています。

また、議会事務局のほか、市役所本庁舎および庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会
10月2日
・総務委員会の行政視察について
- ▽厚生福祉委員会
10月2日
・厚生福祉委員会の行政視察について
- ▽建設委員会
10月2日
・建設委員会の行政視察について
- ▽教育環境委員会
10月2日
・教育環境委員会の行政視察について
- ▽議会運営委員会
8月16日
・平成29年9月定例会の運営について
- 10月2日
・質疑・討論について
- ▽議会改革検討特別委員会
7月27日
・議員定数について
- ・市民へ市議会を周知する取り組みについて
- ・請願者の意見陳述等の機会について

- ・議員研修会の開催について
8月16日
- ・議員定数について
- ・請願者の意見陳述等の機会について
- ・議員研修会の開催について
- ▽広報広聴委員会
9月19日
- ・議会だより第49号について
- ・議会報告会について
- ・視察結果報告書について
- 10月2日
- ・議会だより第49号について
- ・議会報告会について
- ▽図書室運営委員会
10月2日
- ・平成29年度購入図書申込みについて

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。
傍聴席は56席（車イス傍聴席2席含む）です。
本会議は、通常午前10時から開催します。

11月の定例会は
11月27日（月）
開会予定です

編集後記

平成29年10月28日に、「議会報告会」を開催させていただきました。

ご来場をいただきました皆さまにおかれましては、お忙しい中、誠にありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見などにつきましては、議会運営の参考とさせていただきます。

今後も議会運営にご理解ご協力をお願い申し上げます。

広報広聴委員会

- 委員長 矢島 章好
- 副委員長 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 齊藤 義則
- 委員 大野とし子
- 委員 古沢 耕作
- 委員 木村 圭一
- 委員 蛭間 靖造
- オプザーバー
議長 滝澤 英明
副議長 武 幹也

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会
Tel 048-736-1111（代表）
内線3116
再生紙を使用しています。